

第3部

参 考 资 料

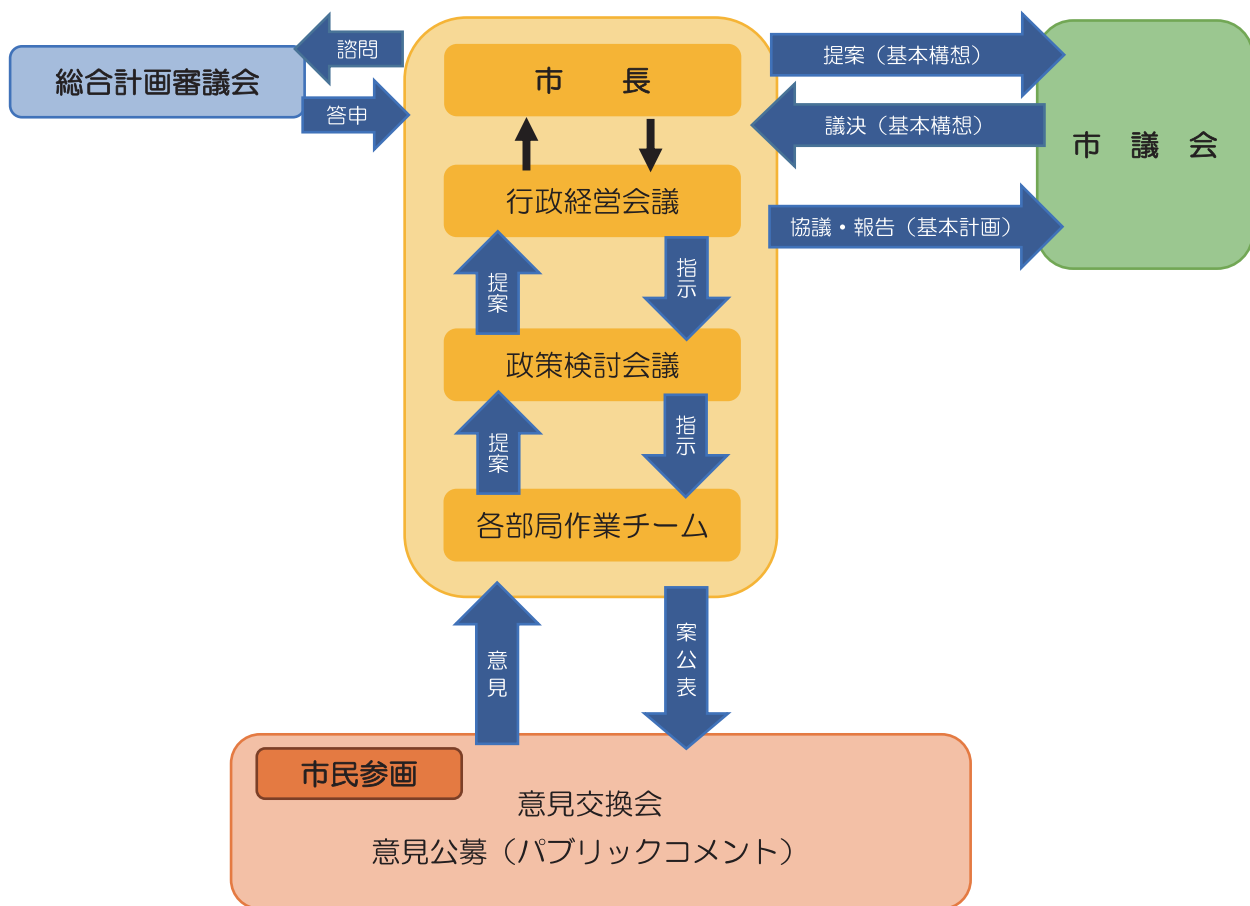
参考資料 1

● 鈴鹿市総合計画2023基本構想一部改正及び後期基本計画策定の経過

年月日	総合計画審議会	市議会	意見交換会	その他
2019.4				各部局作業チームの設置
2019.6	市民公募委員の募集・決定			
2019.7.3	第1回総合計画審議会 「総合計画」策定についての諮問			
2019.7.16		7月市議会全員協議会 「後期基本計画素案」の協議		
2019.7.24	第2回総合計画審議会			
2019.9.12	第3回総合計画審議会			
2019.9.27	第4回総合計画審議会			
2019.10.15		10月市議会全員協議会 「基本構想一部改正案」 「後期基本計画素案」の協議		
2019.10.21～ 2019.11.20				「基本構想一部改正案」「後期基本計画素案」に係る意見公募（パブリックコメント）
2019.10.31			「基本構想一部改正案」「後期基本計画素案」に係るまちづくり意見交換会（鈴鹿市地域づくり協議会・鈴鹿市地域づくり協議会設立準備委員会対象）	
2019.11.8			「基本構想一部改正案」「後期基本計画素案」に係るまちづくり意見交換会（市民対象）	
2019.11.9			「基本構想一部改正案」「後期基本計画素案」に係るまちづくり意見交換会（市民対象）	
2019.11.14			「基本構想一部改正案」「後期基本計画素案」に係るまちづくり意見交換会（鈴鹿工業高等専門学校対象）	
2019.11.18			「基本構想一部改正案」「後期基本計画素案」に係るまちづくり意見交換会（鈴鹿大学対象）	
2019.11.28			「基本構想一部改正案」「後期基本計画素案」に係るまちづくり意見交換会（鈴鹿医療科学大学対象）	

年月日	総合計画審議会	市議会	意見交換会	その他
2019.12.13	第5回総合計画審議会			
2020.1.14	第6回総合計画審議会 「総合計画」についての 答申			
2020.1.15		1月市議会全員協議会 「基本構想一部改正案」 「後期基本計画案」の協議		
2020.2.19		2月市議会定例会「基本 構想」を議案として提案		
2020.3.25		2月市議会定例会「基本 構想」を議決		
2020.3	鈴鹿市総合計画2023（基本構想・後期基本計画・実行計画）を公表			

鈴鹿市総合計画2023基本構想一部改正及び後期基本計画の策定のための推進体制図



参考資料2

●鈴鹿市総合計画審議会への諮問

鈴総政第468号

令和元年7月3日

鈴鹿市総合計画審議会

会 長 豊田 長康 様

鈴鹿市長 末 松 則 子

諮 問 書

鈴鹿市総合計画の策定に当たり、鈴鹿市総合計画審議会条例（昭和52年3月31日条例第2号）第2条の規定により、基本構想及び基本計画について貴会の意見を求めます。

参考資料3

●鈴鹿市総合計画についての答申

令和2年1月14日

鈴鹿市長 末 松 則 子 様

鈴 鹿 市 総 合 計 画 審 議 会
会 長 豊 田 長 康

鈴鹿市総合計画について（答申）

令和元年7月3日付け鈴総政第468号にて諮問された鈴鹿市総合計画基本構想及び基本計画について、本審議会で審議を重ねたところ、諮問された原案は概ね妥当なものとの結論に達しましたので、下記の意見を付して答申します。

記

1 基本構想について

- (1) 市民力の向上については、地域の人材確保・育成など地域づくり協議会における体制構築に向け行政による各種支援が安定的に行われるよう、ジョブローテーション（人事異動）に伴う行政側の専門性の低下などが生じないように、継続性に配慮した取組を推進されたい。
- (2) 基本構想成果指標の達成に向け、その進捗状況を継続的に評価・検証し、後期基本計画期間における施策等の推進が着実に図られるよう、進行管理を行うための仕組みを改善するなど、行政力の更なる向上に努められたい。
- (3) 市民力の向上と行政力の向上との両輪で基本構想の着実な実現をめざすために、地域づくりの推進などによる市民の取組と行政力の更なる向上のための行政の取組が効果的に連動するよう関係性の構築に努められたい。
- (4) 計画人口である総人口20万人の維持に向け、新名神高速道路の開通などの外部環境の変化を適切に捉え、企業誘致などの施策を積極的に推進するとともに、市の強みや魅力を発信することで、定住促進に繋がられるよう努められたい。
- (5) 基本構想についての文言、字句などの表現については、審議会での意見を参考にするとともに、市民に分かりやすい表現とされたい。

2 基本計画について

(1) 将来都市像を支えるまちづくりの柱

「大切な命と暮らしを守るまち すずか」について

- ①自分の身は自分で守ることの大切さについて幼少時期から学び、大規模災害時に適切な行動がとれるように、防災施策と教育施策との連携を推進されたい。
- ②災害時に市民が適切な避難行動がとれるよう、市民に対する情報伝達の精度を向上させるための手段を構築されたい。
- ③市民の防災力を向上させるため、全市的に地区防災計画の策定が進むよう取組を推進されたい。

(2) 将来都市像を支えるまちづくりの柱

「子どもの未来を創り 豊かな文化を育むまち すずか」について

- ①子どもの権利条約の理念に基づき、「権利の主体」として子どもたちを捉え、子どもたちの権利を守る施策や、子どもたちがその権利について学ぶ機会が保障されるような施策を推進されたい。
- ②市民の方の生涯学習、文化、芸術に対してのニーズを積極的に把握し、施策に反映するための方策を検討されたい。
- ③コミュニティスクールと地域づくり協議会における課題共有・連携がより円滑に進むよう、行政の支援体制の充実を図られたい。
- ④公民館の利用については、年間参加者数を増やすことに加えて、地域づくりのための活動拠点になることも念頭に置き、行政から市民の方への周知を充実させるなど効果的な発信に努められたい。

(3) 将来都市像を支えるまちづくりの柱

「みんなが輝き 健康で笑顔があふれるまち すずか」について

- ①介護保険制度については制度発足以来様々な施策の見直し、拡充が図られてきたため、広域連合による広域行政のあり方については、今後のサービス提供の方向性も見据え、慎重に検討されたい。

②小児科専門医の減少や在宅医療の維持などの課題に対応するため、医師確保のための取組を積極的に推進し、地域医療の維持、拡充を図られたい。

(4) 将来都市像を支えるまちづくりの柱

「自然と共生し 快適な生活環境をつくるまち すずか」について

①公共交通空白地域などにおける市民の交通ニーズをしっかりと捉え、市民の移動を確保するための交通ネットワークの構築を進め、公共交通の利便性確保に努められたい。

(5) 将来都市像を支えるまちづくりの柱

「活力ある産業が育ち にぎわいと交流が生まれるまち すずか」について

①企業誘致をはじめ、地域資源の効果的な発信や積極的な観光振興など、市の活力を創造するための施策を推進されたい。

(6) 自治体経営の柱

「市民力、行政力の向上のために」について

①出入国管理及び難民認定法の一部改正により、今後、外国人市民の増加が想定されることから、災害時への対応、文化、教育、市民生活に関わる施策などの推進においては、多文化共生の視点に十分配慮し対応を検討されたい。

②市内の事業所や自治会等に向けた啓発をはじめ、S U Z U K A女性活躍推進連携会議で情報共有や情報発信を行うなど、市全体で女性参画の意識醸成を図るよう努められたい。

③地域づくり協議会が策定する地域計画の取組内容及びその進捗状況に応じ、積極的に行政が必要な支援を行うよう努められたい。

④地域づくりをはじめ市民との協働を進めるために、地域づくりに関して専門性を有する職員の育成を進められたい。

3 総合計画の推進に当たって

(1) 総合計画に対する市民の認知度を向上させるため、積極的に情報発信し

周知を図られたい。

- (2) 全市的な地域づくりの取組と後期基本計画における取組が連動するように、地域政策と防災・減災、教育施策との連携など、施策間連携を一層意識して取組を推進されたい。
- (3) 将来的な都市の持続性を実現するために持続可能な開発目標（SDGs）の考え方なども取り入れ総合計画を推進するとともに、市の強みを生かした戦略的な施策の推進を図られたい。
- (4) 山間部海岸部などの地域特性や、在住期間の相違などによる市民特性も把握しながら、計画を推進されたい。
- (5) 後期基本計画の推進にあたっては、毎年、市民の意見を取り入れつつ、評価・検証し、施策の着実な成果実現に繋げられたい。
- (6) 後期基本計画の文言、字句などの表現については、審議会での意見を参考にするとともに、市民に分かりやすい表現とされたい。

参考資料4

● 鈴鹿市総合計画審議会委員名簿

(敬称略)

役職	名 前	団 体 名	団体役職等
会長	豊田 長康	鈴鹿医療科学大学	学長
副会長	水野 克則	鈴鹿市自治会連合会	会長
委員	伊藤 輝義	鈴鹿国際交流協会	理事長
委員	宮崎 由美子	鈴鹿市男女共同参画審議会	委員
委員	富本 真理子	鈴鹿市観光まちづくり委員会	委員
委員	戸口 孔二	鈴鹿地区みえ防災コーディネーター	代表
委員	朴 恵淑	三重県地球温暖化防止活動推進センター	センター長
委員	坂田 恵子	鈴鹿市PTA連合会	アドバイザー
委員	田城 朋子	こどもサポート鈴鹿	代表
委員	玉田 洋子	鈴鹿市文化振興事業団	統括マネージャー
委員	米川 直樹	鈴鹿市体育協会	副会長
委員	樋口 径子	鈴鹿市社会福祉協議会	副参事
委員	玉田 直哉	鈴鹿市医師会	事務長
委員	磯部 友彦	鈴鹿市都市計画審議会	会長
委員	大橋 高光	鈴鹿地区労働者福祉協議会	会長
委員	田中 彩子	鈴鹿商工会議所	会頭
委員	岡本 隆	鈴鹿農業協同組合	常務理事
委員	矢田 和夫	鈴鹿市漁業協同組合	代表理事組合長
委員	下古谷 博司	鈴鹿市教育委員会	委員
委員	村橋 正雄	公募市民委員	